



子どもたちの呼び掛けに足を止め、多くの善意が寄せられました

## 北海道胆振東部地震募金活動

10月21日 [大町広場、薬王堂 釜石鶴住居店]

小学生ら18人が北海道胆振東部地震で被災した子どもたちを支援するための募金活動を行いました。募金を呼び掛けたのは、東日本大震災で自宅が全壊し、母が犠牲になった藤原菜穂華さん（鶴住居小5年）。震災当時3歳だった藤原さんは「(北海道から駆け付けたボランティアの活動などで) 子どもの居場所があったことが良かった。北海道でもそういう居場所づくりに生かしてほしい。募金と、一緒に書いてもらったメッセージを持って、北海道に行って、被災した子どもたちに直接思いを伝えたい」と話します。

※募金など藤原さんたちの活動に協力したい人は、子どもたちの活動をサポートしている三陸ひとつなぎ自然学校 (☎55-4630) にご連絡ください。

## ポール・コストロファッションショー&アフターショー

10月26日 [釜石市民ホールTETTO]

故ダイアナ妃のデザイナーを務めたファッション界の重鎮ポール・コストロさんは、釜石発の合金「コバリオン」を素材としたクラダリングのデザインも手掛けています。その縁で今回、ファッションショーが開催されました。高校生2人を含む地元モデル7人は華やかな衣装を身にまとい、プロモデルと共に出演。アフターショーではアイリッシュダンスの披露や、虎舞と民謡、弦楽器のコラボレーションなども行われ、観客は美しくも幻想的な世界にいざなわれました。



笑顔でランウェイに立つ地元モデルの皆さん



受章を喜ぶ岩井さん

## 高齢者叙勲「瑞宝単光章」伝達式

10月26日 [市長室]

高齢者叙勲「瑞宝単光章」(社会福祉功労)を9月1日に岩井司郎さんが受章し、その伝達式が行われました。岩井さんは30年にわたり民生委員・児童委員を務め、生活相談への助言や地域福祉の向上などに尽力しました。「箱崎小学校の統合のときに、学校は地域の柱と訴え、PTAと一晩中話をしたこともあった」とのこと。受章には「光栄だ。本当にもらっていいんだべか」とはにかむ場面もありました。

## 第9回かまいし仙人峠マラソン大会

10月28日 [旧釜石鉱山事務所周辺コース]

澄み切った秋空の下、標高差約400mの峠コース(17.2km)の407人、10kmコースの246人は、美しい紅葉と声援を背に難コースを駆け抜けました。10時に号砲が鳴り響くと、旧釜石鉱山事務所前から折り返し地点のある大松へ向け峠コースのランナーが一斉にスタート。峠コースで仙人トンネル入り口から折り返してきた女性は「毎年、紅葉が楽しみで参加している。登りはつらいけど、撮影しながら下るのが楽しい」とポケットからスマートフォンを取り出し色鮮やかな山々を写真に収めると軽快に走り出しました。



目の前に広がる赤や橙、黄色に色付いた峠を駆け上がります



来場者は食事や買い物を楽しみました

## 釜石はしのうえ朝市

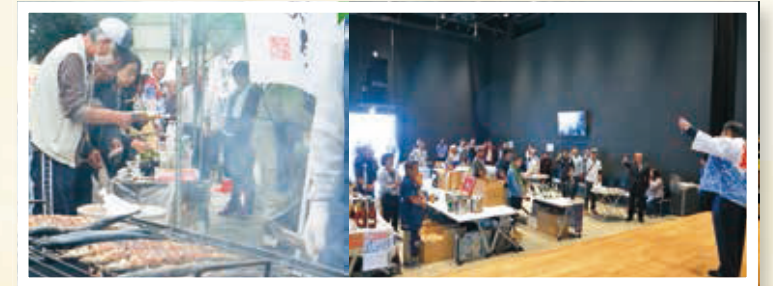
10月28日 [大渡橋周辺]

今回で4回目となる朝市。かつて大渡町にあった「橋上市場」の活気を再現しようと、水産物や農産物、加工品などを販売する15店が並びました。このイベントの目玉は、販売されている釜石の食材を購入して、ご飯に乗せて食べる「のっけ丼」。「マイ茶わん」を持参するとご飯が無料となり、来場した多くの市民は「マイのっけ丼」を作って、おいしそうに頬張りました。

## 釜石まると味覚フェスティバル

10月6日 [青葉通り、チームスマイル釜石PIT他]

2日間予定されていたイベントは台風による強風の影響を考慮し、7日を中止にして1日だけ開催。例年どおり、市内外の特産品・工芸品などの販売、郷土料理がお振る舞いされた他、消防車や工事車両などの試乗体験も実施されました。昨年好評を得た釜石ワインフェスティバルも開催され、ワインを楽しむ大人でにぎわいました。



サンマのお振る舞いには長蛇の列が

釜石観光物産協会会長の澤田さんが「食べてまんぶく、遊んで満足、楽しめる釜石」と挨拶し乾杯



もうすぐ、ゴールだ

## 第44回釜石健康マラソン大会

10月6日 [市球技場]

体育の日を記念し「すすめよう、私のスポーツ」をスローガンに開催。市民総参加のスポーツイベントとして定着しています。今年は幼児から80代まで335人が出場。FC釜石の青山唯斗さんが力強く選手宣誓を行った後、それぞれが出場するマラソン4種目(400m、1.5km、2.3km、3.2km)とリレーで、選手たちはさわやかな汗を流しました。

## 平成30年度釜石市戦没者追悼式

10月15日 [釜石市民ホールTETTO]

台風13号の影響で延期となった釜石市戦没者追悼式。黙とうがささげられ、戦没者遺族代表の佐々木郁子さんが「戦争を語り継いでいくことが残された人の使命。平成最後の追悼式は感慨もひとしお」と追悼の言葉を述べました。また、第6回釜石市「平和への思い」作文コンクール優秀賞5作品のうち、小川結暖さん(甲子小4年)と木村雪月さん(唐丹中2年)が作文を朗読。参列者は恒久平和への誓いを新たにしました。※優秀賞は平野優羽さん(甲子中1年)、佐野真梨奈さん(甲子中1年)、三浦智咲さん(大平中3年)も受賞



女性合唱組曲「翳った太陽」を献唱する翳った太陽を歌う会と釜石中学校特設合唱部の皆さん



曳き船まつり

## 釜石まつり

10月20・21日 [市内各所]

秋の風物詩、釜石まつりが開催されました。20日は、大漁旗をはためかせた曳き船が釜石湾内をパレード。21日には、尾崎神社と釜石製鐵所山神社のお神輿が合同で市内渡御し、神楽や虎舞、鹿踊りなど郷土芸能も披露されました。



チャグチャグ馬コ



黒岩鬼剣舞



神輿渡御